

平成 30 年度 奥田元宋・小由女美術館事業報告

三次市の芸術・文化・教育の振興，並びに地域文化の発展を図ることをめざし，次の事業を行いました。

1. 展示事業

(総入館者数 98,579 人)

(1) 常設展示の充実

(入館者数 3,609 人)

ア 常設展示室では，所蔵作品，寄託作品を活用し，年 4 回の展示替を行い，常設展示の充実を図りました。

第 1 期展示 平成 30 年 4 月 12 日～平成 30 年 7 月 10 日

第 2 期展示 平成 30 年 7 月 12 日～平成 30 年 10 月 9 日

第 3 期展示 平成 30 年 10 月 11 日～平成 30 年 12 月 28 日

第 4 期展示 平成 31 年 1 月 2 日～平成 31 年 3 月 13 日

イ ギャラリートーク

満月夜間開館日に合わせ，午後 3 時から，学芸員による常設展示室内でギャラリートークを実施しました（計 12 回 参加総数約 40 人）。

(2) 企画展の開催

ア「平田玉蘊 美の交遊」

(平成 30 年 4 月 1 日～4 月 15 日 入館者数 1,845 人)

(全会期 平成 30 年 3 月 1 日～4 月 15 日 総入館者数は 5,954 人)

《概要》

江戸時代後期に広島・尾道で活躍した女性の画人・平田玉蘊の芸術を、関連作家の作品を含め約 80 点で紹介しました。玉蘊は、玉蘊の再評価の機運が高まる近年、これまで知られていなかった作品が多く発見されていることをふまえて作品を選定。玉蘊の代表作の数々に加え、頼山陽や菅茶山ら交流のあった文人、伊藤若冲や円山応挙をはじめとする関連作家の佳品もあわせて展示しました。

会期中、学芸員によるギャラリートークを 1 回実施し、約 30 人の参加がありました。

イ「生誕 120 年 児玉希望展」

(平成 30 年 4 月 27 日～6 月 17 日 入館者数 9,519 人)

《概要》

奥田元宋の師匠としても知られる日本画家・児玉希望の生誕 120 年を記念して、その回顧展を実施。会期を前期・後期に分けて大幅な展示替えを行ない、幅広い作風を展開した児玉希望の代表作を交えながら、全体を五つの章にわけて全画業を紹介しました。風景、花鳥、歴史人物、抽象表現、さらには水墨画や油彩画などの多彩な作品 100 余点を通じて、その作品の魅力に迫りました。

会期中、学芸員によるギャラリートークを 4 回実施し、延べ 約 140 人の参加がありました。

ウ「子どもたちに贈る三次の夏休み 広島県立歴史民俗資料館・三次商工会議所
ジョイント事業 『生誕 60 周年記念 くまのパディントン™展』
(平成 30 年 7 月 6 日～8 月 26 日 入館者数 7,646 人)

《概 要》

イギリスの国民的キャラクターである「くまのパディントン」が誕生して 60 年を記念し、児童書の挿絵や絵本の原画、世界中で作られたグッズなど 200 点ほどを展示しました。三次商工会議所の協賛による広島県立歴史民俗資料館とのジョイント事業で、広報用チラシは共同で作成するなど連携を図りました。

会期中、7 月 22 日（土）、8 月 19 日（日）にギャラリートークを各日 2 回実施、延べ 45 人の参加がありました。また、8 月 11 日（土）三次市民ホール主催による映画『パディントン』『パディントン 2』の上映会に際し、市民ホール 1 階のホワイエにパディントングッズ等を販売する美術館の特設ショップを設置し、パディントンと記念撮影する場を設けました。

エ「安野光雅展 -花と歌、文学の絵本から-」

(平成 30 年 8 月 30 日～10 月 8 日 入館者数 6,125 人)

《概 要》

数々の独創的な絵本を手がけてきた画家・安野光雅を紹介する展覧会として開催。テーマを「歌」と「花」、「文学」とに設け、親しみやすい作風の絵本原画などおおよそ 100 点を紹介しました。津和野町の安野光雅美術館以外では初展示となった「絵本 仮名手本忠臣蔵」の原画や、三次を描いた風景画なども展示し、当館ならではの内容となりました。

会期中、9 月 9 日（日）には学芸員によるギャラリートークを開催し、約 20 人の参加がありました。

オ「木梨憲武展 Timing－瞬間の光り－」

(平成 30 年 10 月 20 日～12 月 9 日 入館者数 57,220 人)

《概 要》

タレントとしてのみならず、20 年以上にわたるアーティスト活動が国際的に注目をされている木梨憲武氏の絵画、オブジェなど約 180 点を展示しました。展示準備や開会式に木梨憲武氏本人が立ち会った事が話題となり、入場者は開館記念展以来の 5 万人台となりました。

カ「生誕 100 年 堀文子展」

(平成 30 年 12 月 18 日～平成 31 年 1 月 20 日 入館者数 5,824 人)

《概 要》

孤高の女性画家・堀文子の 80 年に及ぶ画業を振り返り、その遠大で魅力に満ちた絵画世界を紹介しました。全体を 10 のセクションに分け、画業の始まりから転機となった初の個展、大磯や軽井沢、アレッツォ（イタリア）を活動拠点とした各時期の作品、あるいは花や絵本といったテーマ別に構成し、多角的に紹介。約 120 点の作品と関連資料により、その芸術と、多くの人を魅了する人間像に迫りました。

会期中、学芸員によるギャラリートークを計 3 回実施し、延べ約 130 人の参加が

ありました。

キ「吉村芳生 超絶技巧を超えて」

(平成 31 年 2 月 22 日～3 月 31 日 入館者数 6,791 人)

(全会期 平成 31 年 2 月 22 日～4 月 7 日)

《概 要》

途方もない時間と気の遠くなるような作業の集積によって、「超絶技巧」を超えた独自の作品を描き出した画家、吉村芳生の画業を通覧する回顧展として開催しました。初期のモノクロームによる作品群や、代表的なシリーズとなる「新聞と自画像」の一連の作品、色鉛筆によって克明に描きこまれたコスモス畑やフジの花など、代表作を含むおよそ 480 点の作品群を一挙に展示し、ボリュームのある内容となりました。

会期中、学芸員によるギャラリートークを 2 月 24 日、3 月 1 日、3 月 31 日に実施、延べ約 90 人の参加がありました。

(3) 展覧会関連講演会、イベントの開催

ア「生誕 120 年 児玉希望展」関連事業

(ア) ワークショップ「児玉希望の絵にチャレンジ！～絹に水墨で絵を描こう～」

会場：奥田元宋・小由女美術館 ロビー

日時：5 月 13 日（日） 午後 1 時 30 分～

講師：中尾泰斗氏（日本画家、福岡女学院大学講師）

児玉希望の描いた絵を鑑賞したあと、その多彩な技法の一端を、実際に水墨で描いて追体験しました。10 人の参加がありました。

イ「生誕 60 周年記念 くまのパディントン™展」関連事業

(ア) パディントンといっしょ！写真撮影会

会場：奥田元宋・小由女美術館 ロビー

日時：7 月 15 日（日）、8 月 12 日（日）

各日午前 11 時～、午後 2 時の 2 回実施。パディントン（着ぐるみ）と触れ合いながら記念撮影をするイベントで、合計 90 組（7 月 15 日…30 組、8 月 12 日…60 組）の参加がありました。

ウ「安野光雅展 『花と歌、文学の絵本から』」関連事業

(ア) ワークショップ「野草を描く 金彩野草図」

会場：奥田元宋・小由女美術館 茶室

日時：9 月 2 日（日）午後 2 時～（90 分程度）

講師：大西恵美子（臨床美術士） 久寿米木恵美（臨床美術士）

臨床美術士の大西氏、久寿米木氏を講師に迎え、野草を描くワークショップを開催し、7 人の参加がありました。

エ「生誕 100 年 堀文子展」関連事業

(ア) スペシャルトーク

会場：奥田元宋・小由女美術館 企画展示室内

日時：12月18日（火）午前11時～

講師：檀ふみ氏（女優）

堀文子との親交で知られる女優の檀ふみ氏に、展示室会場にて堀文子氏の人柄や作品の魅力、知られざるエピソードなどを語っていただきました。

約200人の参加がありました。

（イ）スペシャルトーク&ミニライブ

会場：奥田元宋・小由女美術館ロビー

日時：1月13日（日）午後1時～

講師：坂田明氏（ミュージシャン）

ミジンコ研究者としても知られる同氏に、ミジンコ等を介した堀文子との交流、堀文子作品の特徴などを解説していただきました。また、サクセスと独唱による音楽も披露、約100人の参加がありました。

オ「吉村芳生 超絶技巧を超えて」関連事業

（ア）特別ギャラリートーク

会場：奥田元宋・小由女美術館 企画展示室内

日時：3月17日（日）午後2時～

講師：吉村大星氏（画家／吉村芳生長男）

作家遺族による作品解説を行い、吉村芳生の作品制作をより深く理解できる内容となりました。約50人の参加がありました。

（イ）関連講演会

会場：奥田元宋・小由女美術館 ロビー

日時：3月24日（日）午後1時～

講師：金田晋氏（美学者／広島大学名誉教授）

「1970～80年代、広島現代美術を通して」と題し、戦前、戦後の広島画壇の流れを俯瞰し、特に1970年代、80年代の状況に注目した内容の講演となりました。約20人の参加がありました。

（4）美術館ボランティア「OGS夢スタッフ」の活動状況

ア 登録総数 220人（延べ活動者数3,091人）

内訳は受付・監視2,785名、環境美化182名、広報30名、呈茶44名、事務イベント、50名

イ 活動内容 受付・監視、環境・美化、発送作業、イベント補助、

広報（ボランティアニュース発行 隔月奇数月1回）、呈茶

ウ 先進地視察 大山祇神社（今治市）、大三島美術館、平山郁夫美術館（尾道市）

10月12日（金）、10月14日（日）2回実施 参加者43人

エ 美術館ボランティア研修の実施

（ア）各企画展研修会の実施（企画展研修12回）

「生誕120年 児玉希望展」 2回

「生誕60周年記念 くまのパディントン™展」 2回

「安野光雅展 -花と歌、文学の絵本から-」	2回
「木梨憲武展 Timing-瞬間の光り-」	2回
「生誕100年 堀文子展」	2回
「吉村芳生 超絶技巧を超えて」	2回

※堀文子展、吉村芳生展では、夕方に時間を確保できず研修に参加できないボランティアが参加できるよう、平日昼にギャラリートークを設定しました。

(イ) 継続研修会の実施(平成29年度から実施)

奥田元宋、奥田小由女やその他関連作家についての理解を深めるために実施。平成30年度は、奥田元宋の生涯と芸術に焦点を当て、年間3回シリーズとして行ないました(6月1日、10月5日、平成31年2月1日)。講師は永井学芸主幹で、計50人の参加がありました。

(ウ) 一日研修会の実施(2月12日(火)実施)

「洋画家 南薫造と奥田元宋」 講師：吉川学芸員

「ボランティアスタッフ接遇研修」

講師：株式会社富山学園 森下美郷 他アシスタント1名

2. 調査研究、収集保管事業

(1) 調査研究

奥田元宋の習作・スケッチ類の分類整理作業を継続中。

(2) 作品収集

奥田元宋作品3点「浅春の月」(絹本彩色・額装 60.8×41.0 cm)、「霜梢」(絹本彩色・額装 41.7×57.6 cm)、「春暖」(絹本彩色・額装 49.2×57.5 cm)を購入しました。また、顧問の奥田小由女氏から、奥田元宋作品を中心に計47点の作品寄贈を受けました。株式会社河崎組から、奥田元宋作品2点の寄託を受けました。

児玉希望作品2点「中将姫」(紙本彩色・軸装 177.0×58.4 cm)、「梅図」(紙本彩色・軸装 128.7×16.7 cm)の寄贈を受けました。

引き続き作品購入・寄託受入の調整を行います。

3. 市民活動支援及び教育普及事業

(1) 市民ギャラリー活用事業

各文化団体、児童・生徒の成果の発表の場として市民ギャラリーの活用を図りました。

(「8. 平成30年度年度市民ギャラリー等使用明細」参照)

主な利用としては、6月に開催された第44回みよし市民祭美術展、1月から2月にかけては、第16回墨親会書展、第14回みよし文化祭美術展などが開催されました。

また、酒屋保育所の園児によるお茶会も昨年に続きお茶室を利用して開かれました。

(2) ロビーコンサート事業

月1回の満月日に地元三次市内等で活躍する個人や団体の発表の場として、年間11

回のロビーコンサートを実施し、延べ1,934人の集客を図りました。

(「9. 平成30年度満月ロビーコンサート実績」参照)

(3) 教育現場との連携

ア 鑑賞事業

三次市立小学校・中学校の団体鑑賞の受け入れを行いました。(31団体842人)

(「10. 平成30年度 団体鑑賞受け入れ実績」参照)

イ ワークショップ

(ア) 「4コママンガをつくろう」

会場および日時：奥田元宋・小由女美術館ロビー (6月30日午前・午後)

三良坂コミュニティセンター (7月1日)

講師：三桝正典氏 (美術家/広島女学院大学教授)

2会場にて3回実施。4枚の紙をコマに見立て、自由に絵を描きながら気軽に4コママンガの制作を体験するワークショップを開催。延べ17人の参加を得ました。完成作品は「生誕60周年記念 くまのパディントン™展」の会期中、3階多目的室前にて一般に鑑賞していただけるよう展示しました。

4. 広報、宣伝活動事業

(1) 各企画展に伴う広報内容

企画展名	広報内容
平田玉蘊 美の交遊	中国新聞社 (紙面広告等), 中国放送 (ラジオCM), 広島FM, 三次ケーブルビジョン (展覧会紹介など), その他雑誌・季刊誌での告知
生誕120年 児玉希望展	中国新聞社 (紙面広告・PR記事・作品紹介連載など), 中国放送 (ラジオCM・電話出演), 『新美術新聞』掲載, エフエムふくやま (電話出演), 三次ケーブルビジョン (展覧会紹介など), その他雑誌・季刊誌での告知
生誕60周年記念 くまのパディントン™展	中国新聞社 (紙面広告・作品解説連載など), 中国放送 (ラジオCM等), 毎日新聞社 (作品解説連載など), 広島エフエム放送 (電話出演), 三次ケーブルビジョン (展覧会紹介など), その他テレビニュース報道内, 雑誌・季刊誌・WEBサイトでの展覧会紹介
安野光雅展 -花と歌、文学の絵本から-	中国新聞社 (紙面広告・PR記事・作品紹介連載など), 新美術新聞, 中国放送 (ラジオCM), 広島FM, 三次ケーブルビジョン (展覧会紹介など), その他雑誌・季刊誌での告知

<p>木梨憲武展 Timing —瞬間の光り—</p>	<p>中国新聞社（紙面広告・木梨憲武氏取材記事掲載・作品紹介連載など）、朝日新聞社（木梨憲武氏取材記事）、中国放送（ラジオCM、『ビビット（TBS）』『イマなまっ！』内の特集で展覧会紹介）、広島エフエム放送（クイズプレゼント企画）、エフエムおのみち（電話出演）、三次ケーブルビジョン（木梨憲武氏インタビュー、展覧会紹介など）、とんねるずファンクラブでの告知、その他テレビニュース報道内、雑誌・季刊誌・WEBサイトでの展覧会紹介</p>
<p>生誕100年 堀文子展</p>	<p>中国新聞社（紙面広告・PR記事・作品紹介連載など）、中国放送（ラジオCM・電話出演）、『新美術新聞』掲載、NHK日曜美術アートシーン紹介、エフエムふくやま（電話出演）、三次ケーブルビジョン（展覧会紹介など）、その他雑誌・季刊誌での告知</p>
<p>吉村芳生 超絶技巧を超えて</p>	<p>中国新聞社（紙面広告・PR記事・作品紹介連載など）、NHK広島放送局（出演）、中国放送（ラジオCM）、尾道エフエム（出演）、エフエムふくやま（電話出演）、三次ケーブルビジョン（展覧会紹介、市役所ほっとニュースなど）、広島芸術学会（展覧会レクチャー）、その他雑誌・季刊誌での告知</p>

（2）その他広報、宣伝活動

ア 情報発信

美術館ホームページ・フェイスブック・ツイッターによる情報提供や、美術館ニュースNo.34号・No.35号の発行を行いました。1回の発行部数は7,000部で、奥田元宋・小由女作品の紹介や企画展の紹介、ボランティア活動など幅広い美術館の情報をサポートメンバーや市内外の施設へ配布し広報活動を行いました。

イ 市民及び市外への広報・営業活動

<講演会等の開催>

（ア）みよし なるほど！出前講座「楽しみ方いろいろ 美術館」

会場および日時：みよしふれあい会館 7月13日（金）14:00～15:30

講師：吉川学芸員

三次地区自治連合会主催の連続講座の一環として実施。三次市内4館の美術館の特色などを紹介しました。聴講者は145人でした。

（イ）ともえ講座「日本画家・奥田元宋」

会場・日時：ともえ学園・11月11日（日）10:40～12:00

講師：渡邊学芸員

「みよし なるほど！出前講座」の一環として実施。奥田元宋の芸術と人生についての講義を中心に、奥田元宋・小由女美術館の活動を紹介しました。聴講者は61人でした。

(ウ) 講演会「児玉希望の画業」

会場および日時：富山県水墨美術館映像ホール 7月14日（土）午後2時～
講師：永井学芸主幹

富山県水墨美術館で開催された特別展「生誕120年 児玉希望展」（当館から巡回）の関連イベントとして実施された講演会の講師を務めました。奥田元宋の師でもある児玉希望の多彩な作品の魅力と波乱万丈の生涯について、代表的な作品を図版で示しながら紹介しました。聴講者は60人でした。

(エ) スペシャルトーク「児玉希望の画業」

会場および日時：茨城県天心記念五浦美術館 10月13日（土）
午後1時30分～

講師：永井学芸主幹

茨城県天心記念五浦美術館で開催された特別展「生誕120年 児玉希望展」（当館から巡回）の関連イベントとして実施されたトークイベントの講師を務めました。奥田元宋の師でもある児玉希望の多彩な作品の魅力と波乱万丈の生涯について、展示会場内で作品を前にしながら解説しました。聴講者は50人でした。

<営業活動>

各種団体や中四国及び九州や大阪の旅行業者を訪問し集客にむけてPRを図りました。併せて、備北交通株式会社との連携で、満月日の満月バスパック（出発：広島バスセンター）、直行便（広島バスセンター～美術館までの1往復）アートワインバスパック（乗車券と入館券のセット）も実施しました。広島県観光連盟主催の観光情報説明会や三次市のキャラバンにも積極的に出席し、平成20年度からの継続事業である、三次市観光客アップ事業の活用も行い集客を図りました。営業活動及び団体入館者等については「11.平成30年度団体入館者及び旅行会社明細表」のとおりです。

また、尾道松江線の全線開通後も継続して島根県内および県内の尾道、三原、福山、府中の各市町の公民館・コミュニティセンター・交流センターへの企画展ポスター・チラシを送付し、広範囲での広報活動を実施し集客を図りました。

5. 収益事業

(1) 美術関連品提供（ショップ）事業

ア 常設ショップ

元宋・小由女作品の関連商品等の販売や、三次市が行う、ふるさと納税寄付者に対する「お礼産品」の取扱を行いました。

（4月～3月までの売上額 3,697,309円）

イ 企画ショップ

平成 30 年度開催企画展において、企画展関連商品及びグッズの委託販売を実施しました。

(単位：円)

企画展名	売上額	手数料額
平田玉蘊展	287,212	89,906
児玉希望展	3,576,440	753,651
くまのパディントン TM 展	7,506,903	1,284,417
安野光雅展	2,965,305	427,268
木梨憲武展	57,761,320	7,438,445
堀文子展	5,297,599	1,241,789
吉村芳生展	2,576,496	433,036
合 計	79,971,275	11,668,512

(2) レストラン賃貸事業

レストランの食事と入館料をセットにした平日限定の「セット券」や「満月バスパック」などを入館者に提供し、年間を通じて安定したレストランの経営が出来るようサポートし、賃貸借事業を行いました。

ア レストラン月別利用客数

月	人数	企画内容
4	1,471	平田玉蘊展(4/1～4/15)
5	1,927	児玉希望展(4/27～6/17)
6	1,393	
7	931	くまのパディントン展(7/9～8/26)
8	1,788	安野光雅展(8/30～10/8)
9	1,604	
10	1,880	木梨憲武展(10/20～12/9)
11	3,330	
12	1,966	堀文子展(12/18～1/20)
1	1,640	
2	964	吉村芳生展(2/22～3/31)
3	1,854	
合計	20,748	(平成 29 年度 19,282 人 1,466 人増)

(3) 茶室運営事業

呈茶のサービスを通して、来館者の方々に「奥田元宋・小由女の世界」をより堪能していただくことを目的として実施しています。茶室協議会で企画展・常設展に合わせて呈茶サービスの実施に係る調整会議を実施し、子ども達の茶室利用促進を

目的に、絵本展期間中は小学生以下を無料にするなどの取り組みを行いました。
平成 30 年度の呈茶実施状況は、次のとおりです。

呈茶実施状況 開催日数 72 日 利用客数 延べ 1,676 人 (23.3 人/日)
協力流派数 5 団体 (裏千家・表千家・上田宗箇流・松蔭流・OGS 夢ス
タッフ)

6. その他の事業 (相互扶助等事業)

(1) 美術館サポートメンバー事業

奥田元宋・小由女美術館の魅力企画展や広報活動を通じて市内外に発信し、サポートメンバーの加入促進を図りました。

(平成 30 年度サポートメンバー加入状況)

法人会員 48 社
個人特別会員 268 人
個人一般会員 216 人

7. 法人関係

評議員会、理事会を次のとおり開催しました。(いずれも会場は当美術館会議室)

(1) 平成 30 年 5 月 24 日(木) 10:00～

平成 30 年度第 1 回理事会

平成 29 年度決算報告及び事業報告ほか

(2) 平成 30 年 6 月 8 日(金) 10:00～

平成 30 年度定時評議員会

平成 29 年度決算報告及び事業報告ほか

(3) 平成 30 年 11 月 15 日(木) 10:30～

平成 30 年度第 2 回理事会

平成 30 年度前期収支報告及び事業報告ほか

(4) 平成 31 年 3 月 8 日(金) 10:30～

平成 30 年度第 3 回理事会

平成 31 年度予算及び事業計画ほか

(5) 平成 31 年 3 月 26 日(火) 10:30～

平成 30 年度第 2 回評議員会

平成 31 年度予算及び事業計画ほか

8. 平成 30 年度 市民ギャラリー等使用明細表

使用団体名	使用会場	使用目的	使用期間
奥田宗節ほか	お茶室	お茶稽古	4 月 23 日

奥田宗節ほか	お茶室	お茶稽古	5月25日
奥田宗節ほか	お茶室	お茶稽古	6月1日
国際青少年音楽フェスティバル実行委員会	お茶室	呈茶体験	6月7日
三次市文化連盟三次支部	企画1・市民ギャラリー	第45回みよし文化祭	6/23 ~ 6/27
太田耕治	市民ギャラリー	藍染展	6/22 ~ 6/27
茶道裏千家淡交会三次支部	お茶室	お茶稽古	6/30
奥田宗節ほか	お茶室	お茶稽古	8/24
三次市子ども司書実地研修会	お茶室	研修会	8/28
奥田宗節ほか	お茶室	お茶稽古	9/4
奥田宗節ほか	お茶室	お茶稽古	9/28
奥田宗節ほか	お茶室	お茶稽古	10/12
奥田宗節ほか	お茶室	お茶稽古	11/8
奥田宗節ほか	お茶室	お茶稽古	11/13
奥田宗節ほか	お茶室	お茶稽古	12/7
奥田宗節【婦人画報】	お茶室	取材準備	12/19
奥田宗節【婦人画報】	お茶室	取材準備	1/17 ~ 1/18
奥田宗節【婦人画報】	お茶室	取材	1/19 ~ 1/20
三次市立酒屋保育所	お茶室	お稽古	1/24
三次市立酒屋保育所	お茶室	お茶会	1/26
墨親会	多目的室	第17回墨親書展	1/25 ~ 1/28
三次市文化連盟	企画1・市民ギャラリー・多目的室	第15回みよし文化祭	2/2 ~ 2/10
奥田宗節ほか	お茶室	お茶稽古	2/15
奥田宗節ほか	お茶室	お茶稽古	3/22 ~ 3/22

9. 平成30年度 満月ロビーコンサート実績

開催回及び日程	出演者	人数
第182回 4月30日(月・祝)	岩田 英憲 (パンフルート) きくちレイコ (シンセサイザー)	昼：91人 夜：80人 合計：171人
第183回 5月28日(月)	アンサンブルカンタータ (トロンボーン四重奏)	昼：59人 夜：36人 合計：95人
第184回 6月28日(木)	尾崎・折田・小田・中村 (箏、十七絃、三絃、二十五絃)	昼：50人 夜：56人 合計：106人
第185回 7月28日(土)	昼：みよしK I R I R I 児童合唱団 夜：三次音楽家協会 淀川萌:温井多恵 (ソプラノ) 淀川亜沙：木津田真紀 ピアノ)	昼：65人 夜：70人 合計：135人
第186回 8月26日(日)	木村 紗綾 (ヴァイオリン) 西 佳子 (ピアノ)	昼：120人 夜：140人 合計：260人
第187回 9月24日(月・祝)	こだま 美由希 (ピアノ)	昼：120人 夜：80人 合計：200人
第188回 9月25日(火)	若松 成 (ピアノ)	昼：76人 夜：90人 合計：166人
第189回 10月25日(木)	庄原シティーホールライブ楽団	昼：80人 夜：150人 合計：230人
第190回 11月23日(金・祝)	クラリオンコーラス (合唱) 加島 裕子 (ピアノ)	昼：97人 夜：180人 合計：277人
第191回 12月23日(日・祝)	西本 智佳 (ソプラノ) 垣内 千紗 (ピアノ)	昼：90人 夜：58人 合計：148人
第192回 3月21日(木・祝)	伴谷 真知子 (ピアノ)	昼：93人 夜：53人 合計：146人
合計	11回	昼：941人 夜：993人 計：1,934人(175人/回)

10. 平成30年度 団体鑑賞受け入れ実績（三次市立小学校・中学校）

	実施日	展覧会名	学校名	人数
1	4月27日	児玉希望展	八幡小学校 全学年	20
2	7月5日	常設展	三次中学校 1年生	9
3	7月17日	くまのパディントン展	三次中学校 2・3年生	3
4	7月17日	くまのパディントン展	和田小学校 1・2年生	24
5	7月17日	くまのパディントン展	酒河小学校 1～3年生	87
6	7月18日	くまのパディントン展	田幸小学校 1～3年生	28
7	7月19日	くまのパディントン展	川地小学校 1～4年生	53
8	7月19日	くまのパディントン展	三次小学校 特支	7
9	7月20日	くまのパディントン展	青河小学校 全学年	17
10	7月21日	くまのパディントン展	小童小学校 全学年	19
11	7月24日	くまのパディントン展	作木小学校 5年生	5
12	7月27日	くまのパディントン展	安田小学校 2～5年生	5
13	8月6日	くまのパディントン展	三和小学校 1・2年生	26

14	8月20日	くまのパディントン展	神杉小学校 1・2年生	29
15	8月23日	常設展	八幡小学校 5・6年生	7
16	9月26日	常設展	吉舎小学校 3年生	15
17	9月28日	安野光雅展	田幸小学校 4～6年生	22
18	9月28日	安野光雅展	三次小学校 4年生	56
19	11月17日	木梨憲武展	吉舎中学校 全学年	77
20	11月20日	木梨憲武展	河内小学校 全学年	35
21	11月27日	木梨憲武展	田幸小学校 5・6年生	14
22	11月28日	木梨憲武展	八次小学校 6年生	94
23	11月28日	木梨憲武展	塩町中学校 1・2年生	3
24	11月29日	木梨憲武展	田幸小学校 4年生	8
25	11月30日	木梨憲武展	八幡小学校 全学年	20
26	11月30日	木梨憲武展	和田小学校 1・2年生・特支	25
27	11月30日	木梨憲武展	和田小学校 3～6年生	57
28	12月4日	木梨憲武展	三和小学校 4年生	17
29	1月18日	堀文子展	君田小学校 1・2年生	21
30	2月26日	吉村芳生展	三和小学校 3年生	11
31	3月8日	吉村芳生展	田幸小学校 1～3年生	28
合計				842

※小学校延べ28校 759人、中学校3校 83人

1 1. 平成30年度 団体入館者及び旅行会社明細表

(平成30年度 団体内訳)

	件数	人数	人員%	売上額	売上%	備考
旅行者	108	3,627	56%	2,930,500	73%	
一般団体	115	2,827	44%	1,103,520	27%	学校団体・無料福祉団体含む
計	223	6,454	100%	4,034,020	100%	
前年計	280	7,378		4,588,890		

(平成 30 年度 県別集計)

県別	件数 (一般団体・ 旅行者の合計)	旅行会社 取扱い件数	合計(人)	売上額(円)
広島県	133	34	3,775	1,849,120
山口県	5	4	137	124,300
岡山県	17	16	629	508,800
鳥取県	14	13	523	479,900
島根県	21	14	571	480,800
愛媛県	6	6	86	74,800
香川県	9	9	285	238,500
高知県	5	5	151	117,900
神奈川	1	1	15	12,000
大阪府	1	1	19	17,100
兵庫県	3	3	63	51,800
福岡県	1	1	27	18,900
全国	1	0	22	13,500
中国	2	0	56	13,200
海外	4	1	95	33,400
合計	223	108	6,454	4,034,020

(満月バスパック参加者数)

実施日	参加数	備考
4/30	10	
5/28	8	
8/26	21	
9/24	15	
9/25	5	
10/25	11	
11/23	35	
12/23	30	
3/21	12	
合計	147	
前年	220	

※備北交通との連携で、アートワイン
バスパック、広島バスセンターから美
術館へ直行便(1往復)、年間で 630 名
利用。

(平成 30 年度 旅行会社取扱い送客人数 (上位 5 社))

	旅行会社名	件数	件数%	人数	人数%	売上額	売上%	備考
1	グッドツーリスト	9	8%	410	32%	368,100	13%	
2	中国トラベル	7	6%	306	8%	203,200	7%	
3	農協観光	6	6%	189	5%	172,000	6%	J A 旅行センター含む
4	オーガトラベル	5	5%	192	5%	161,000	5%	
5	阪急交通社	4	4%	174	5%	129,600	4%	
1-5 の合計		31	29%	1,271	35%	1,033,900	35%	
取扱旅行会社計		108	100%	3,643	100%	2,930,500	100%	

平成 30 年度 三良坂平和美術館 事業報告

1 展示事業

(1) 常設展

柿手春三作品を展示する。

(単位：人)

	名 称	会 期	入館者数
1	I 期 花を描く	4 月 1 日～7 月 8 日	880
2	II 期 平和を描く	8 月 2 日～9 月 30 日	709
3	III 期 自然を描く	10 月 3 日～1 月 27 日	1,939
4	IV 期 人物を描く	1 月 30 日～3 月 31 日	884
合 計			4,412

(2) 企画展

(単位：人)

	名 称	会 期	入館者数
1	星加哲男花を描く展	4 月 1 日～5 月 27 日	880
2	県北アートシーン 28th	6 月 2 日～7 月 8 日	840
3	32 回平和展 平和の灯ろうコンテスト作品展	7 月 14 日～7 月 29 日	355
	32 回平和展 荒瀬隆造・道原聡二人展	8 月 4 日～9 月 30 日	707
4	飯田泰子展 木彫彩色の鳥たち	10 月 6 日～12 月 2 日	1,232
5	みらさかコレクション【大前博士展】	12 月 8 日～1 月 27 日	397
6	高山博子展	2 月 2 日～3 月 31 日	878
合 計			5,289

□平成 30 年度入館者数 5,612 人 (企画展 5,289 : + 常設展のみ : 323)
(平成 29 年度 8,548 人 増減 ▽2,936 人)

2 市民活動支援及び教育普及事業

(1) 市民ギャラリー活用事業

町内中学生文化祭作品展・町内文化祭作品展や市民の作品展会場として提供する。(単位：人)

	名 称	会 期	入館者数
1	三良坂町民文化祭	10 月 30 日～11 月 4 日	94
合 計			94

(2) 地域連携事業

①鑑賞事業

展示作品の鑑賞を通して、児童生徒・園児や地域の方々に美術館や美術作品に対する関心をより深めてもらう。

	名 称	期 日	利用団体	入館者数
1	平和の灯ろうコンテスト 作品展	7 月 14 日～7 月 30 日	のぞみ苑・みら屋 三良坂デイサービス ・慈照園・たすく・岡 崎医院	140

2	三良坂中学校職場体験	7月30～8月3日	三良坂中学校2年生	延べ13
3	飯田泰子展	10月8日	糸井町内会	23
		10月18日	みらさか学園	11
		10月31日	長田元気はつらつ教室 ウィズ (デイサービス)	22
		11月2日	三良坂保育所 年長	16
			合計	237

②ワークショップ事業

(単位：人)

	名 称	会 期	講 師	参加者
1	水彩で花を描く	5月13日	星加哲男	15
2	出張木工教室	7月7日	奥本 巖	20
3	三良坂小学校5年生	7月31日	美術館職員	29
			合 計	64

③参加型平和への取り組み事業

「第6回平和の灯ろうコンテスト」

広島市平和記念公園へ手向けられた「折り鶴」を「ちぎり絵」などに活用することで、広く平和祈念の機運を高めることを目的に「平和の灯ろうコンテスト」を三次市地域振興課ひとづくり係と協力して開催、展示する。

◎鶴の解体は三次市内の介護施設にお願いしている。

◎応募について

- ・個人でも団体でも応募できる。
- ・お渡しする灯ろう用紙と折り鶴を使用すること。
- ・作品は平和に関連性を感じさせるものとする。

◎賞の結果について

	幼児の部	小学生の部	中学生の部	一般の部
大 賞	酒屋保育所	酒河小学校	三和中学校	グループホームみら さか のぞみ苑
優秀賞	川西保育所	十日市小学校 3 年い組	三良坂中学校 3 年 野島芹奈	中村由実江
特別賞	川地保育所	作木小学校	作木中学校2年	デイサービスセンタ ーみらさか

応募数 (個人・団体合わせて)

幼児の部 79点 小学生の部 140点 中学生の部 116点

一般の部 184点 合 計 519点

平成 30 年度 美術館あーとあい・きさ及び吉舎歴史民俗資料館事業報告

I 美術館あーとあい・きさ事業

1 展示事業

(1) 常設展

三次市吉舎町出身の奥田元宋、奥田小由女の作品を通年展示する。

(2) 企画展

(単位：人)

	名 称	会 期	入館者数
1	郷土作家シリーズ⑩「彩りの煌めき二人展」	4月1日～4月22日	298
2	コレクション展	4月26日～5月6日	160
3	橋本一貫 洋画展	5月13日～6月10日	899
4	一癒しと安らぎのひと時— 横山隆雄・芳子木版画展	6月17日～7月16日	598
5	第6回新県美展	7月25日～7月29日	223
6	コレクション展Ⅱ	8月1日～8月16日	90
7	竹画会日本画展	8月19日～9月30日	740
8	中村鳳善・汀予子作品展	10月7日～11月4日	475
9	第15回広島日展会総合小品展	11月18日～12月16日	472
10	コレクション展Ⅱ(ふるさと吉舎を描く会展)	12月22日～1月6日	114
11	コレクション展Ⅲ「つちの声・木のこえ」	3月6日～3月31日	186
合 計			4,255

2 市民活動支援及び教育普及事業

(1) 市民ギャラリー活用事業

町内園児・小・中・高校生の作品展や市民の作品展示場として提供する。

(単位：人)

	名 称	会 期	入館者数
1	吉舎町内園児・児童生徒美術作品展	1月13日～2月28日	480
合 計			480

□平成 30 年度 美術館あーとあい・きさ 総入館者数 4,735 人
(平成 29 年度総入館者数 4,905 人 増減 ▽170 人)

(2) 地域連携事業

① 鑑賞事業

著名な作家などによる美術作品を通して、児童生徒や地域住民などに、芸術並びに文化への理解と関心を深めてもらう機会を提供する。

(団体鑑賞受入れ実績) (単位:人)

	名 称	会 期	入館者数
1	美術作品鑑賞と施設見学(八幡小4年生)	4月26日	10
2	美術作品鑑賞と施設見学(基町高校)	5月26日	131
3	美術作品鑑賞と施設見学(吉舎小3年生)	6月1日	15
4	美術作品鑑賞と施設見学(吉舎中生徒)	6月7日	53
5	美術作品鑑賞と施設見学(吉舎中生徒)	6月27日	73
6	美術作品鑑賞と施設見学(ゆうしゃいん三次)	7月31日	9
7	展示作品鑑賞と施設見学(吉舎いきいきサロン)	10月18日	18
8	展示作品鑑賞と施設見学(特別養護老人ホームこじか荘)	10月25日	17
9	美術作品鑑賞と施設見学(山陽新聞旅行社)	11月20日	48
合 計			374

② ワークショップ事業

(単位:人)

	名 称	会 期	講 師	参加者数
1	絵画教室「パネルと色紙への色遊び」	8月19日	竹永克彦と会員	7

(3) 中学生職場体験受入れ 1名

II 吉舎歴史民俗資料館事業

1 展示事業

(1) 常設展

三次市吉舎町の豊かな歴史文化と伝統を背景とした貴重な遺物や資料等を通年展示する。

- ・ 県史跡三玉大塚古墳出土品
- ・ 南天山城跡出土品
- ・ 和智氏関係資料
- ・ 昔の農家(囲炉裏等による再現)
- ・ 民具・農機具等を展示

(2) 企画展

(単位：人)

	名 称	会 期	入館者数
1	全国土雛人形めぐり(人形展)	4月 7日～6月 30日	138
2	三江線の四季写真展	7月 7日～8月 30日	260
3	一後鳥羽上皇と熱き和歌の時代— 吉舎中学校生徒作品展	9月 7日～9月 30日	138
4	けん玉展(むかしといま)	10月 7日～12月 22日	186
5	おばあちゃんのkimono展	平成31年1月5日～3月30日	137
		合 計	859

2 市民活動支援及び教育普及事業

(1) 地域連携事業

① 鑑賞事業

先人の知恵と工夫が生み出した歴史遺産、民俗資料等の鑑賞を通して、児童生徒や地域住民などに、芸術並びに歴史文化への理解と関心を深めてもらう機会を提供する。

・歴史資料、農具・民具などの鑑賞と散策学習

(団体鑑賞受入れ実績) (単位：人)

	名 称	会 期	入館者数
1	資料館見学 (福岡歴史文化ツーリズム・三玉大塚古墳調査)	4月13日	15
2	吉舎町の町並み研究(広島工業大学学生・教授)	4月26日	5
3	資料館見学(八幡小児童8・教諭2)	4月26日	10
4	資料館見学(八幡小児童遠足)	5月1日	26
5	銀山街道ゆかりの地 三次、吉舎を訪ねる (倉敷市退職互助会玉島支部)	6月8日	15
6	資料館見学(吉舎小6年生社会見学)	6月13日	27
7	県史跡三玉大塚古墳学習会(吉舎小6年生)	7月13日	26
8	吉舎中学校生徒作品展展示作業・見学(吉舎中3年生)	9月5日	23
9	吉舎中学校生徒作品展見学(吉舎中1・2年生)	9月28日	56
10	資料館見学・紙芝居鑑賞(吉舎小2年PTC)	10月16日	34
11	郷土史学習(河内町郷土史研究会)	10月26日	13

12	資料館見学（青河小3年生）	1月31日	3
13	資料館見学（吉舎中剣道部）	2月10日	14
14	資料館見学（銀山街道を歩く会）	3月28日	4
合計			271

② ワークショップ事業

(単位:人)

	名 称	会 期	講 師	参加者数
1	けん玉遊びワークショップ	10月7日	鍋谷一也氏	10

■平成30年度 美術館あーとあい・きさ並びに吉舎歴史民俗資料館
合計入館者数 5,598人（平成29年度 5,571人 増減27人増）